

ワーカー

中卒労働者

から始める

11

GH
COMICS

高校生活

佐々木ミノル

ワーカー
中卒労働者

から始める
高校生活

11

佐々木ミノル

Minoru Sasaki Presents



C o n t e n t s

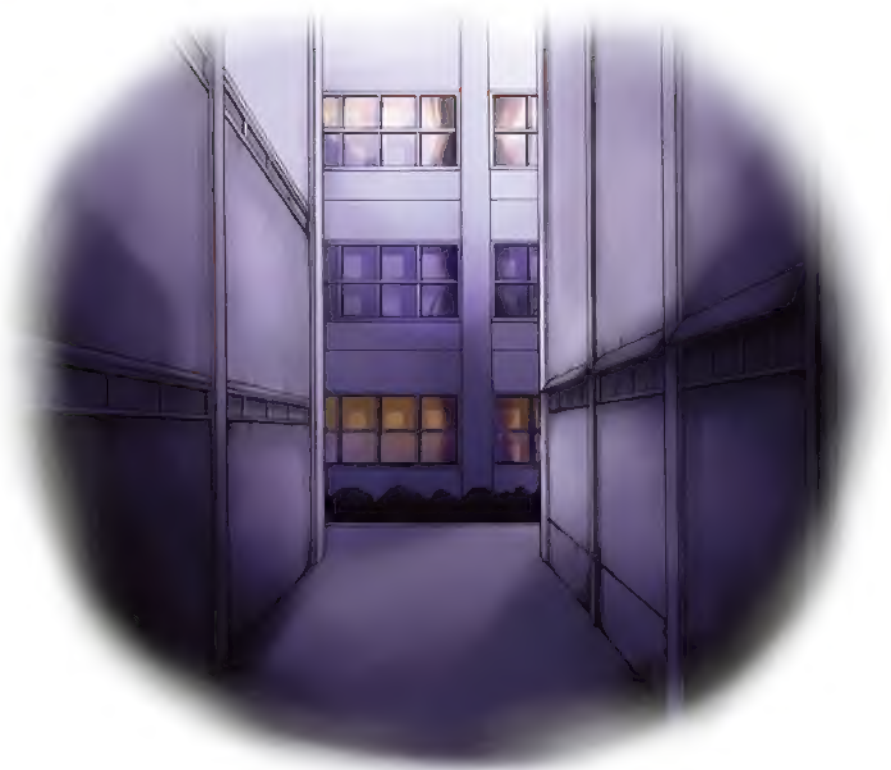
35 ^時 限目	早退.....	3
-----------------------	---------	---

36 ^時 限目	学校.....	55
-----------------------	---------	----

37 ^時 限目	手紙.....	101
-----------------------	---------	-----

S t o r y

二年生になった真実たち。
莉央はアルバイトを始め、
新たな人間関係が
広がっていく。
様々なイベントを経て、
二人の絆は、
より強まるが――。
真実、決壊の時。



■「コミックヘヴン」

2018年6月～10月掲載分収録

●この物語はフィクションであり、

実在の人物・団体・組織・企業等とは一切関係ありません。

今でも
毎日考えるの

あの時の

あれは
間違いだったのかな

言わな
ければ
よかつた？

知らなければ
よかつた？

それとも

出会わな
ければ
よかつた…

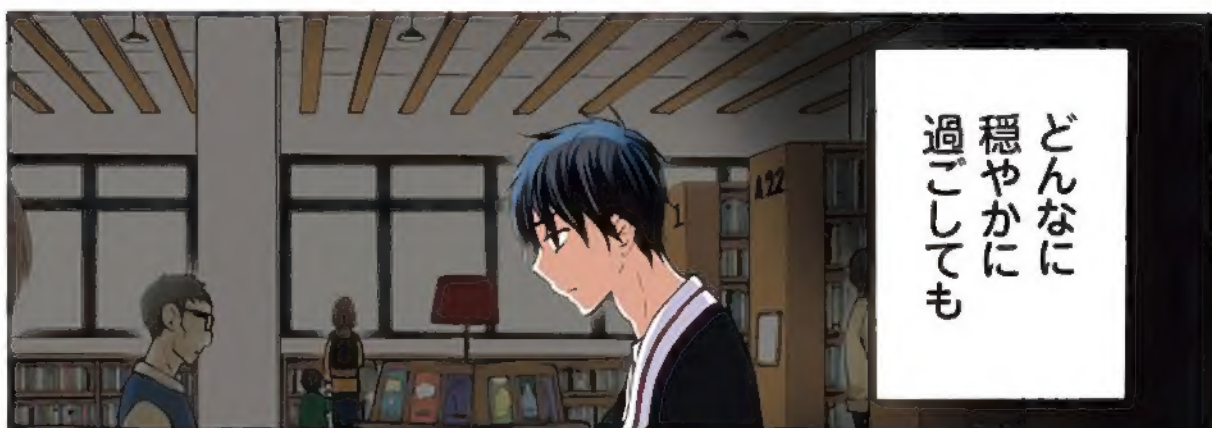


ちがうよね
片桐くん



早退





どんなに
穏やかに
過ごしても



足音が

聞こえる
時がある



だから

誰のものは
わかってる

来るな

来るな

来るな

来るな

来るな

来るな

自分の声で
かき消す

フウ...

かき消せるんだ

今までずっと
そうして来た

かき消せる



あの

お名前

片桐さん
なんですか？

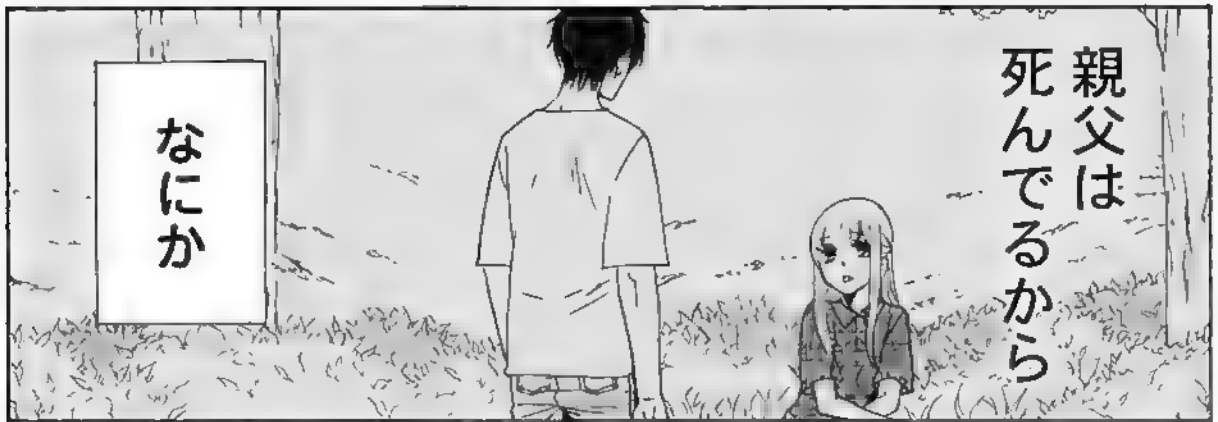
ああ

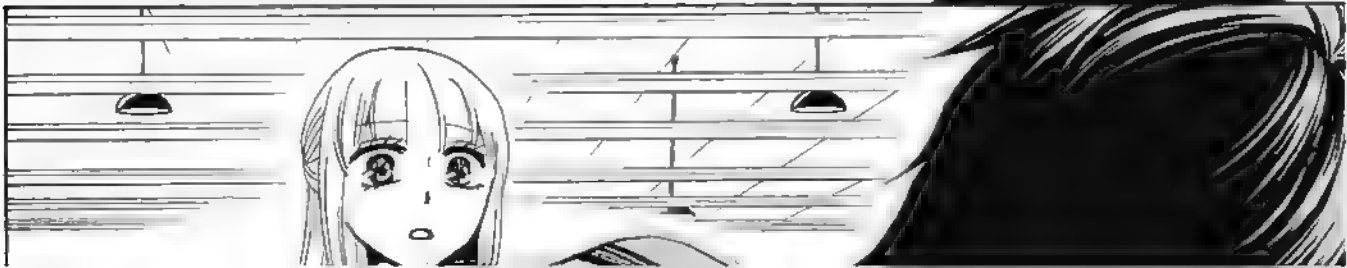
はい

片桐です



早退







…お母さんの話は

普通に話して
くれたのに



名前がね



片桐さん
っていうの



もしかして

配送の

業者さん
なんだけど

雰囲気
が少しだけ

片桐くんに
似てて

お父さんは
亡くなったって

聞いてた
けど

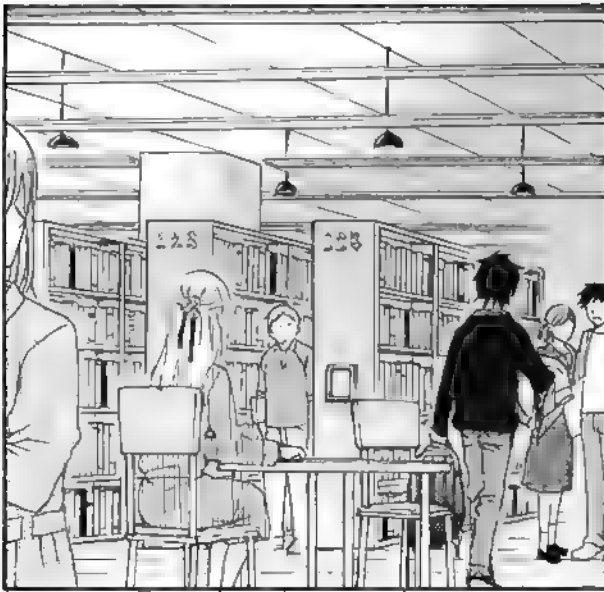
でも

もういいって
言ってるだろ!!!





早退





片桐さんって
いうの

配送の
業者さん

あり得ない

そんな

「心がすき」
って

考えすぎだ

雰囲気が
片桐くんに



最悪な話って
ないだろ

もしもし

おじさん？



真実か

どうした？

あいつさ

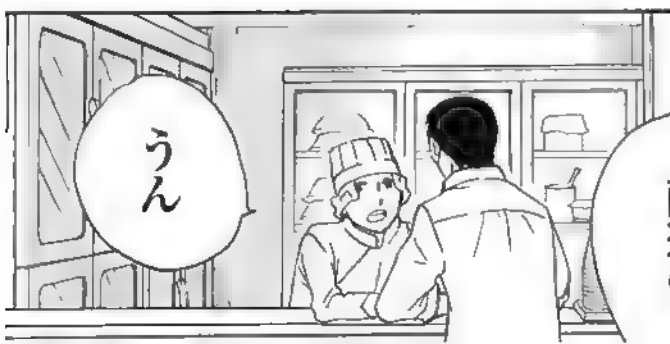
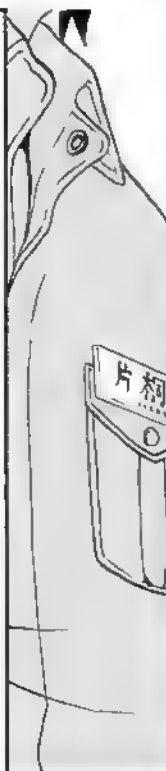
あいつの
勤め先って

どう

早退







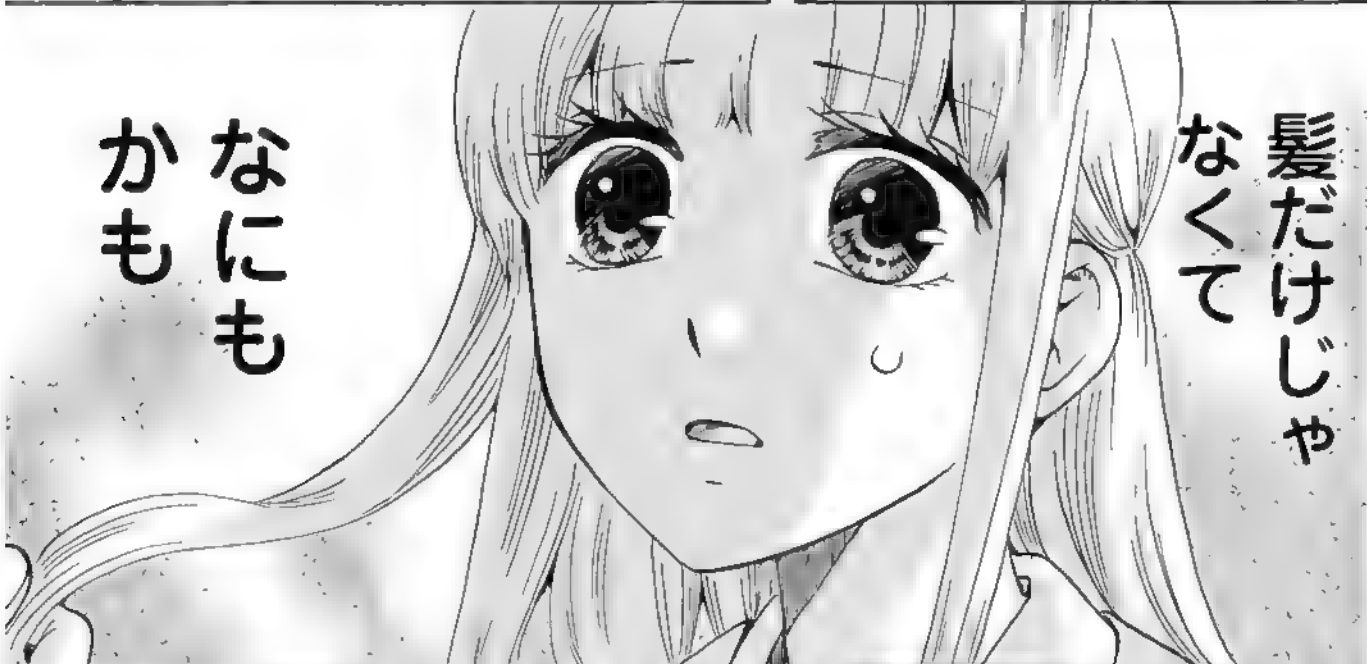
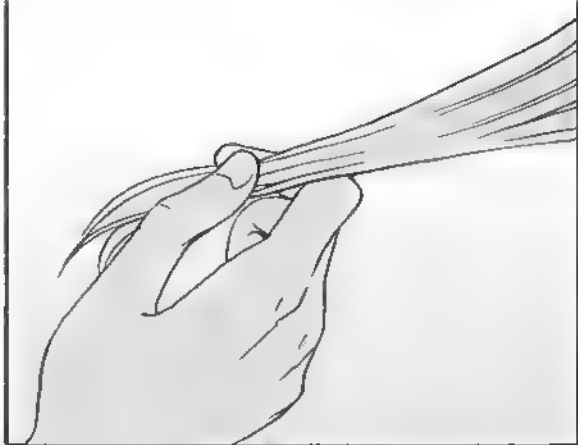








綺麗な
色だな



髪だけじゃ
なくて

なにも
かも



俺は
あれから

ずっと
白黒で



頭ん中は
靴の音で

...



こんなに
拒絶される
なんて

まずい

顔見れねえ

これじゃ
傷付ける

でも無理だ

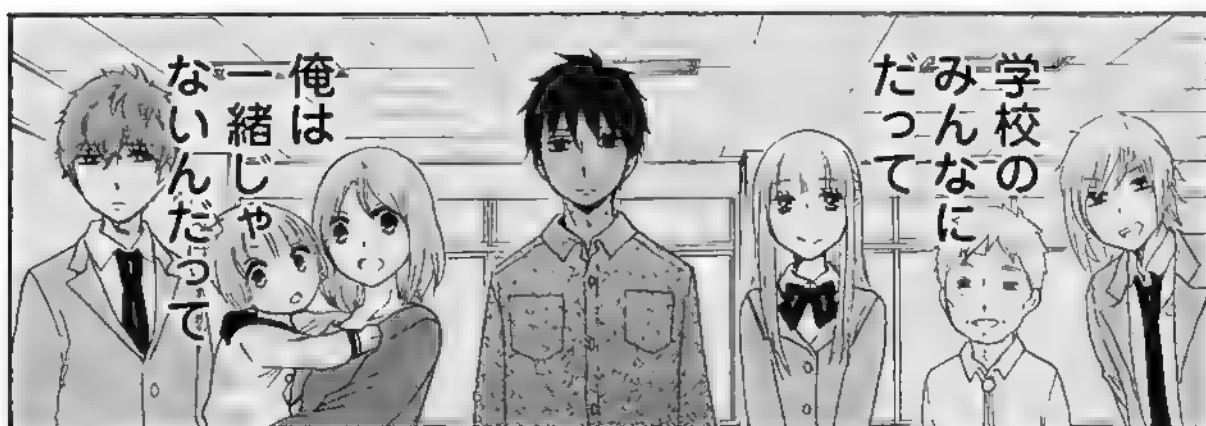
怖え

逢澤が言う

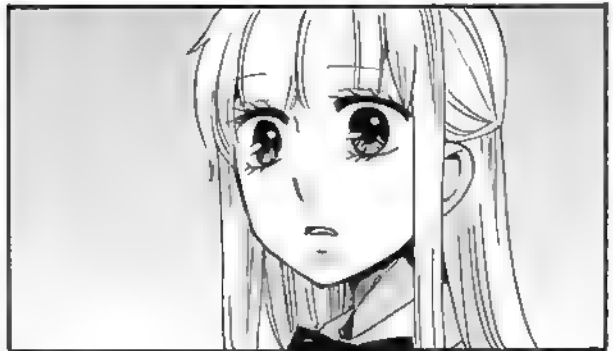
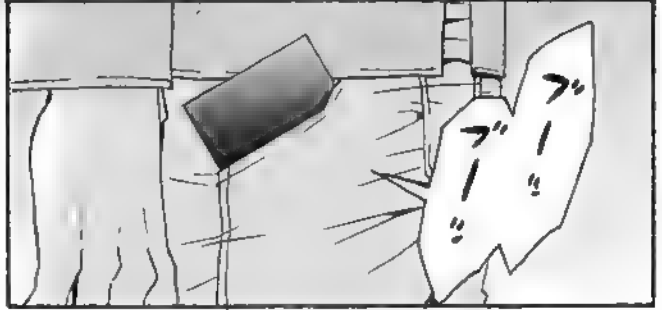
「配送の人」が

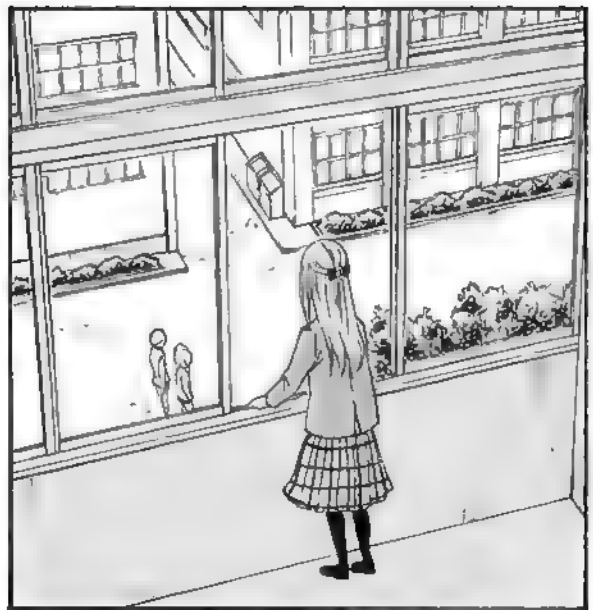
あいつかは
わからない

違うかも
しれない



怖え……

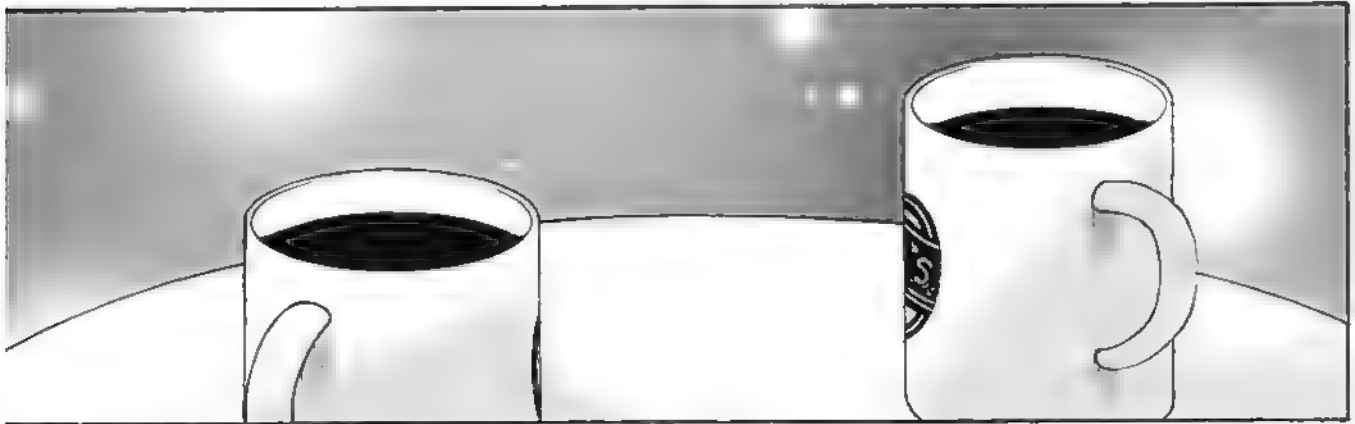




片桐くん



ふんふん?



さつき
メールした通り
なんだけどね

うちの
バイト先に
出入りしてる
業者さんに

片桐さんて
人がいて



逢澤さんと
よく
しゃべってて







久しぶりに

息してる
気がする…

本当のこと

知ってる奴と

こ
あ

ほんと!!
(女に
あんなに
あんなに)

話せるって
楽だ



逢澤…

その人に
前科あるって
知ってんの

え

あ
さあ…

でも





いい奴だ
お前

ほんと



ありがとな



…とりあえず

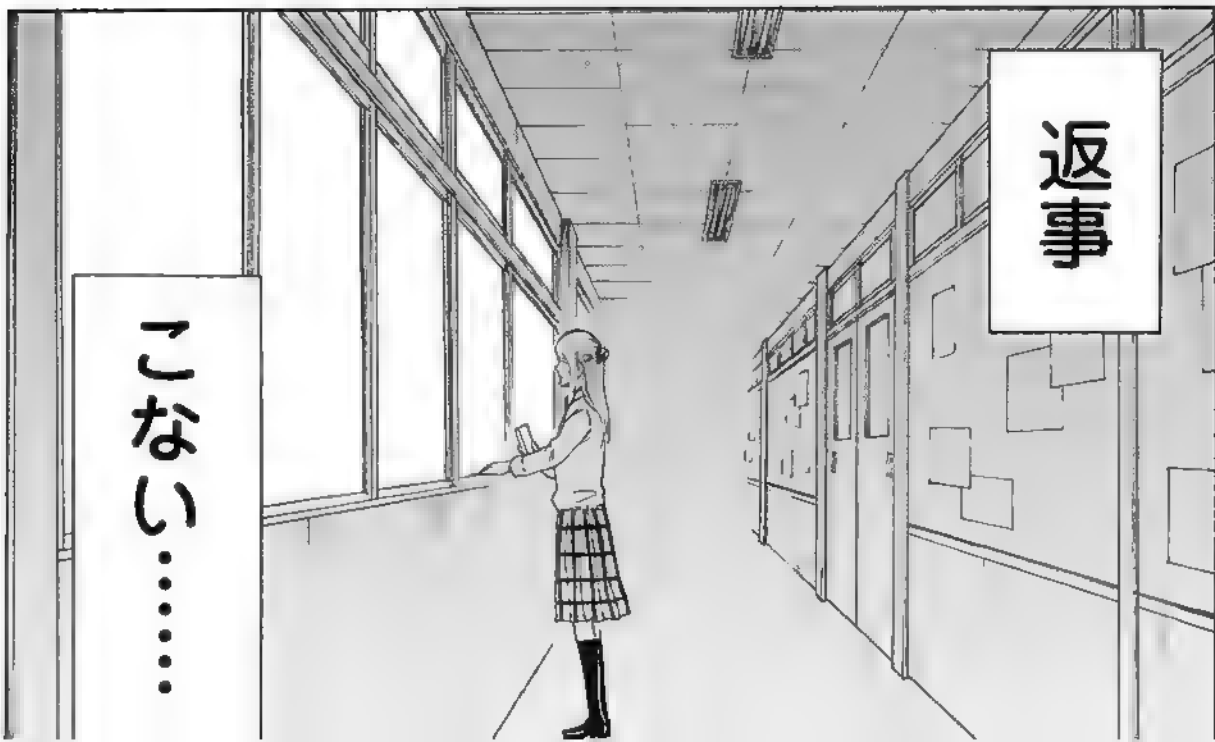
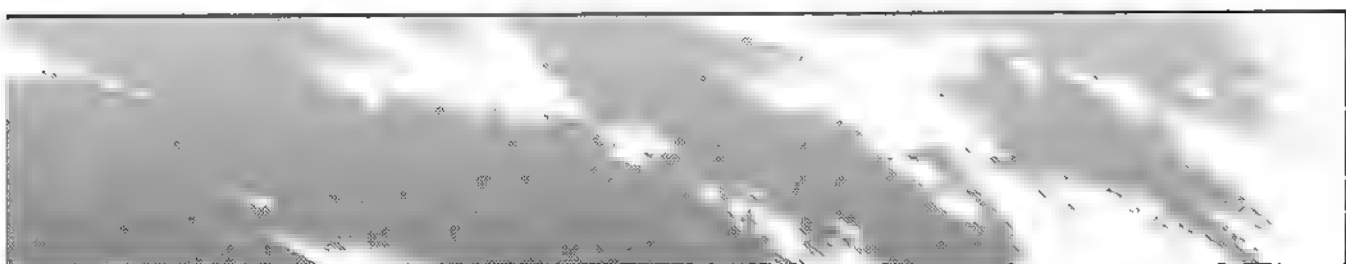
逢澤さんの様子
見とくね！

まかせてっ



バレちゃえば
いいのにつて

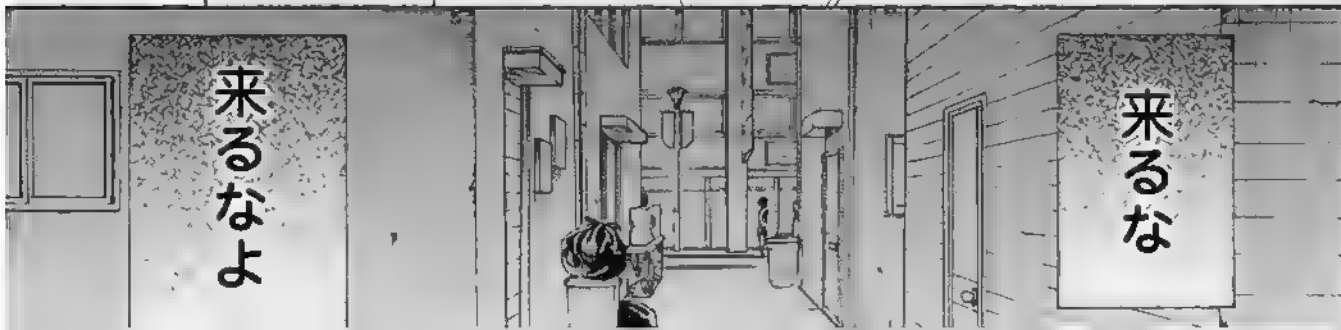
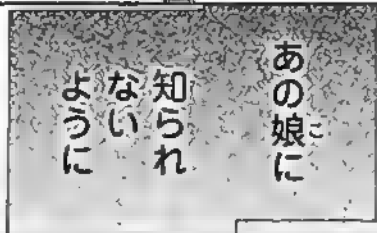
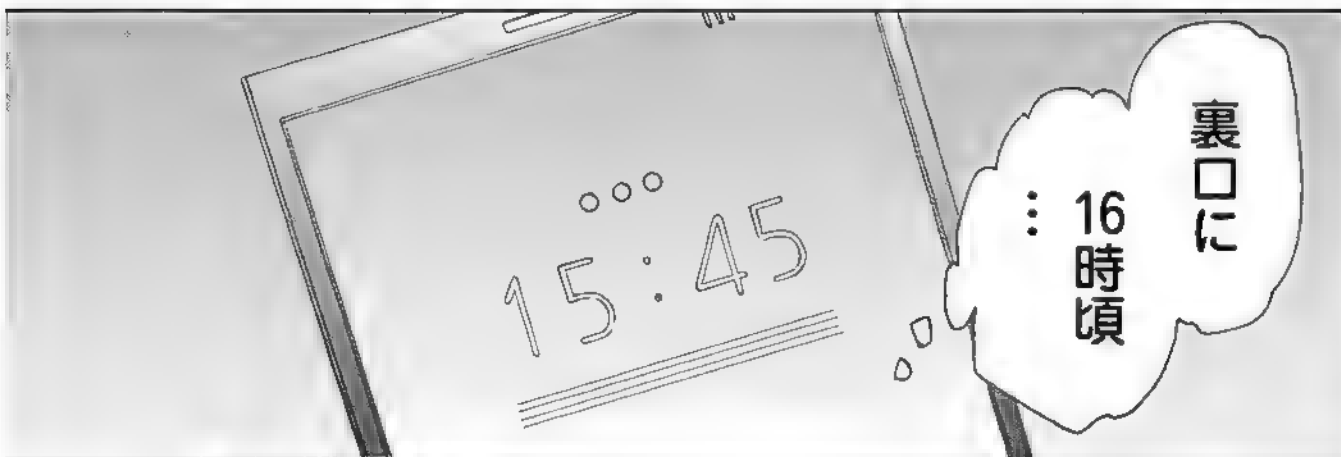
ほんと
思ってるよ

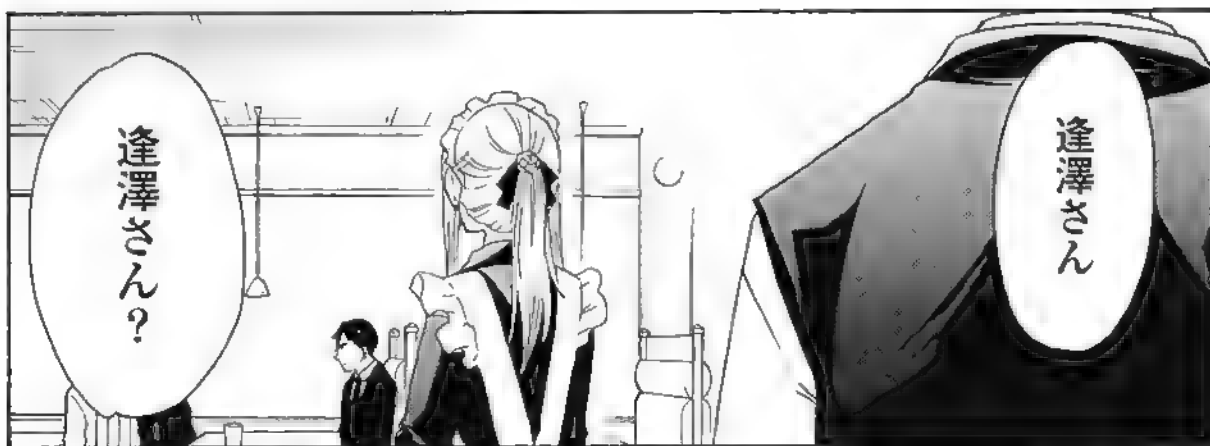




いらつしやい
ませ――







早退



返事

おはよう

これから
バイトだよ

こない





お父さんの話は
だめだったんだ

私間違っ
てしまっ
たんだ



間違
い
だ
っ
た
ん
だ

き
っ
と



話
し
て
く
れ
な
い

目
も
合
わ
せ
て
く
れ
な
い

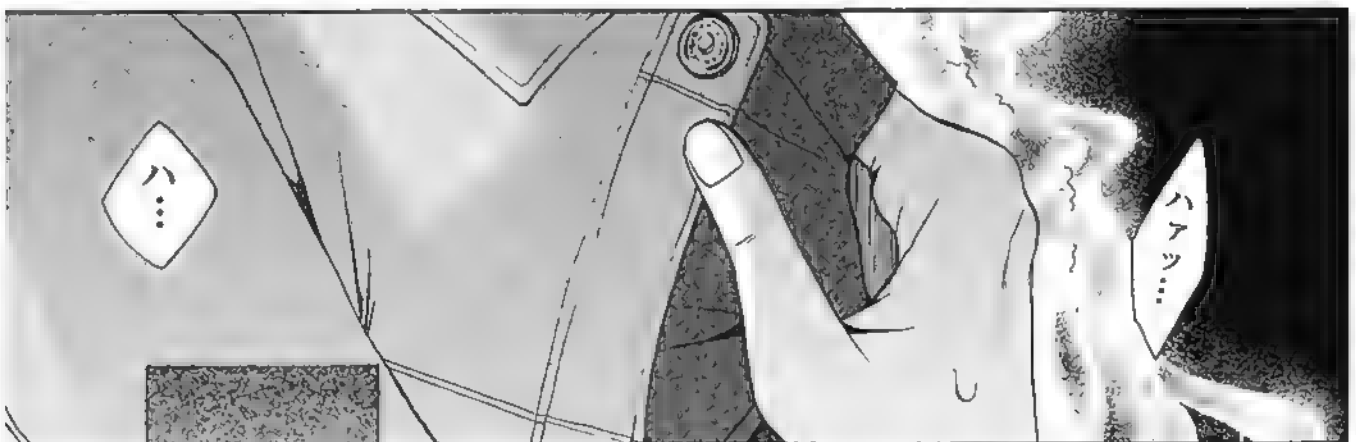
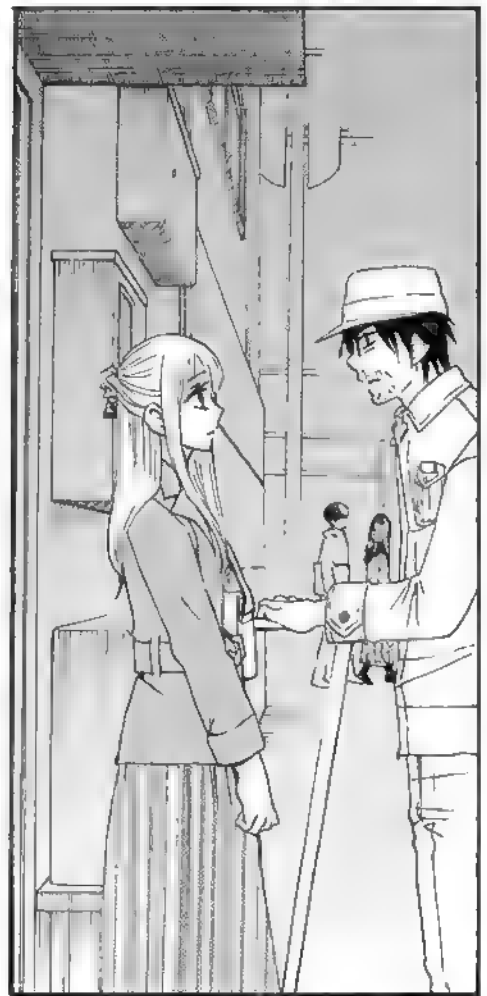


あ
ん
な
に
優
し
い
人
な
の
に

あ
ん
な
に
変
わ
っ
ち
ゃ
う
な
ん
で

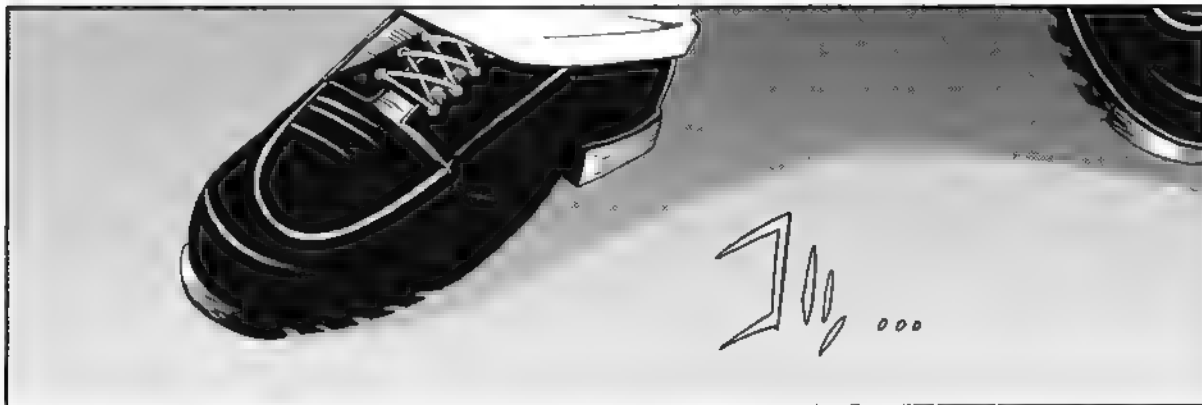
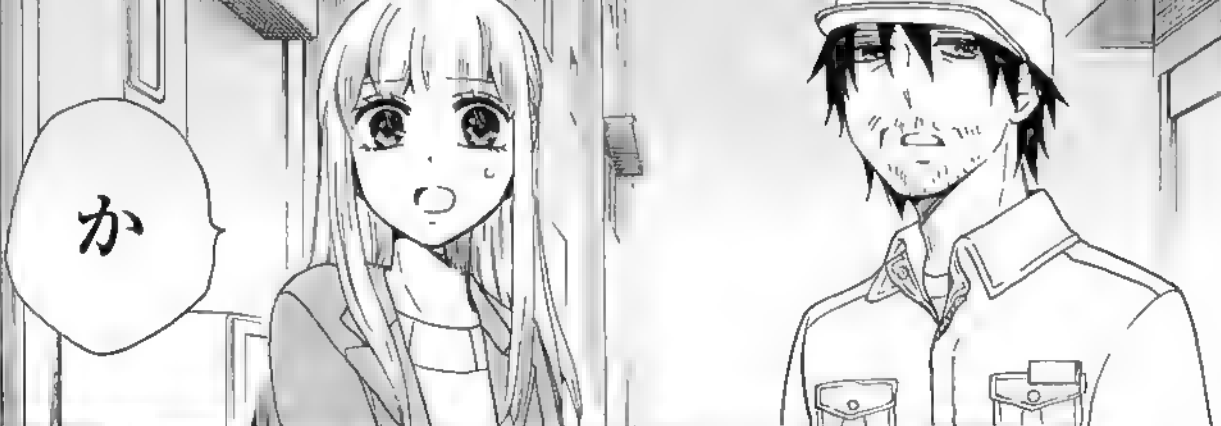






畜生







靴の音



やめろ

来るな

ハア

ハ...



来るな

ハア




かき消せ

この娘に
だけは






間違いだった



言わなければ



知らなければ

ち



父親面
すんな

犯罪者!!!

靴の音

出会わなければ

ハア

消して

ハア

ハア

消し…

終わった

中卒労働者^{ワーカー}
から始める
高校生活





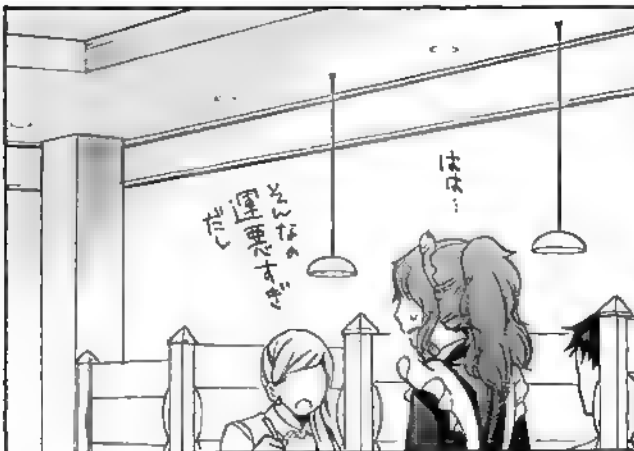
あれ

逢澤さんは？

なんだか
体調悪そうで

早退
したよ

え



…まさか

全員バツタリ
会っちゃった
なんてことは
ないだろうけど



学校

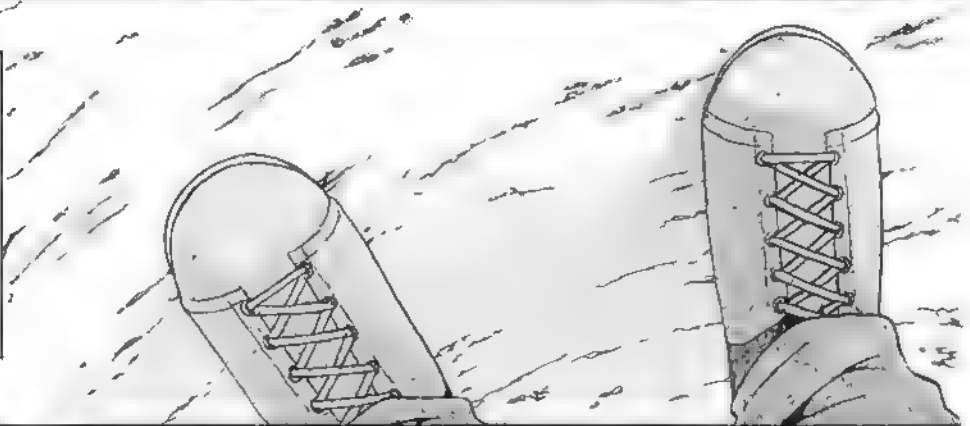
まこと
大丈夫かな…？



学校



…靴



…俺の

誰の？



手…

誰の



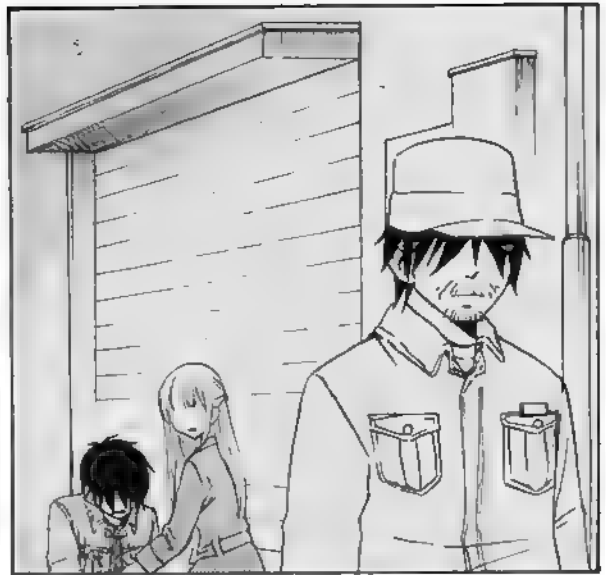
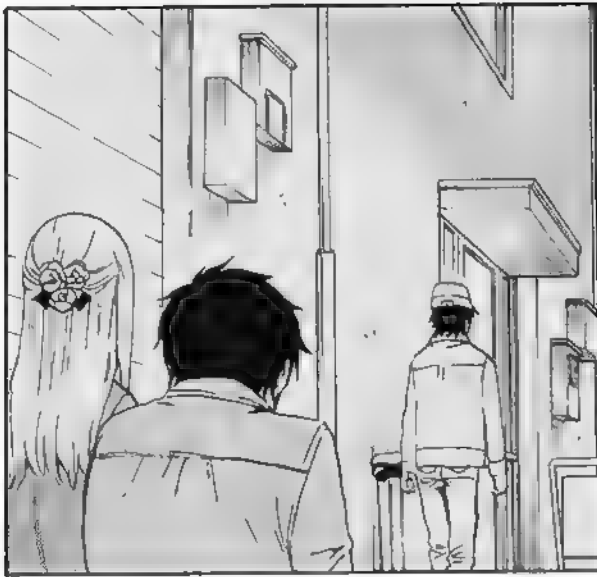




犯罪者

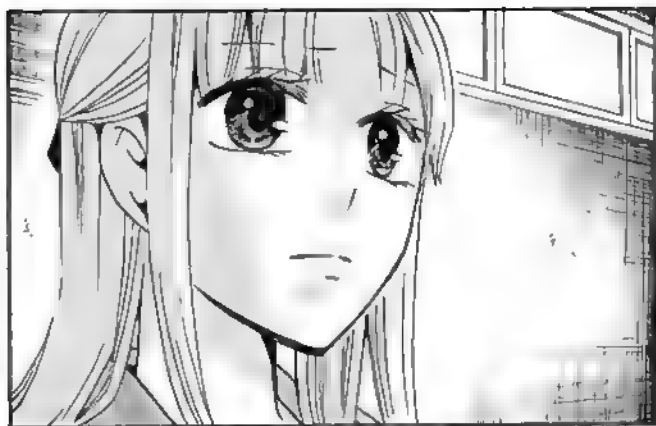


学校



どうやって
ここから
学校まで
来たわけ

覚えて
ないけど





切れて
ベラベラ
しゃべって

自爆かよ



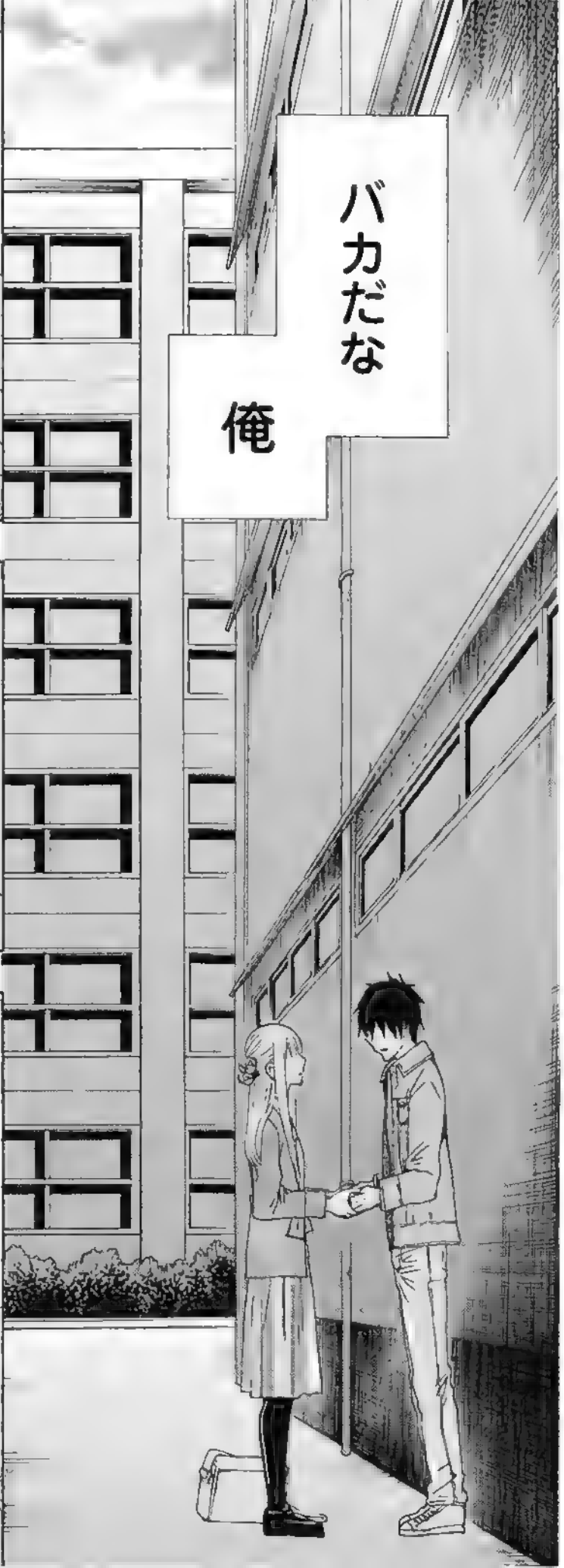
でも



冷静で
いられなかった

遅かれ
早かれ

いつかは



バカだな

俺



父親
なんだ





死んだなんて
嘘で

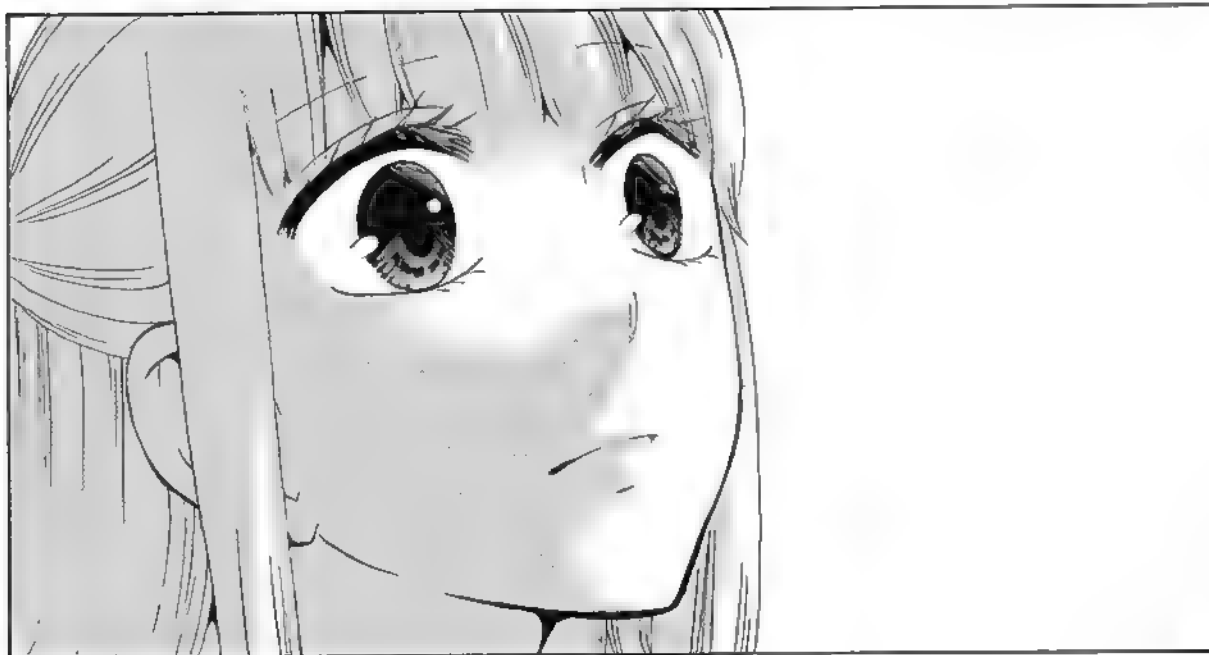
さっきの
あいつが
父親なんだ

…どう
思った？

……

あいつ
父親

ずっと
嘘ついてたんだ
知られたく
なくて





バレたなら

話さねえと

そう言えば

靴の音

消えたな

嘘みたいに

なんでだ

ああ…

なあ

「終わった」

から

かな？



じつ
思ってる。



私...



別れよう








大体…

わかるから



「大体
わかる」…？

引く
だろ？




怖いだろ

犯罪者の
息子だって
思ったら…

逢澤は

ちゃんとした
家の子
なんだから



最初から
わかってたら

俺なんかと
付き合うことも
なかったのにな




ごめんな

だから
黙ってた



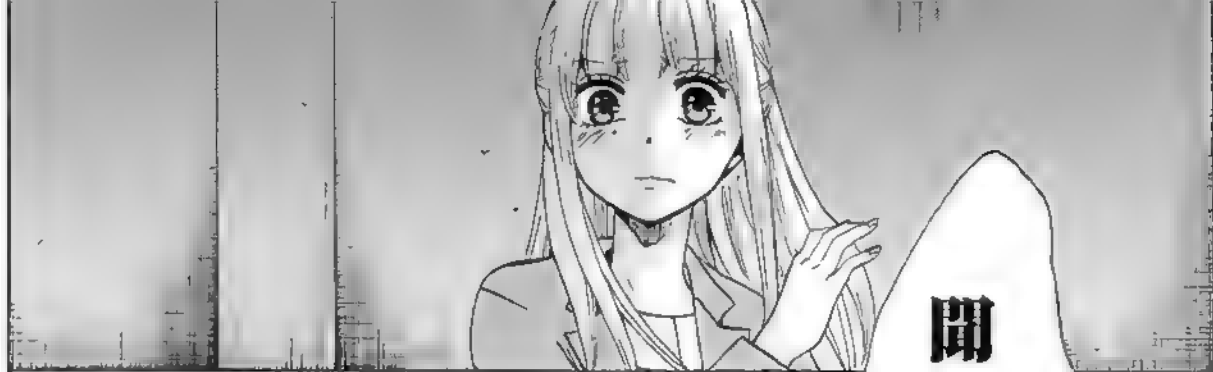
ずっと
騙せれば
いいと
思ってた



バレれば
どうせ

「別れたい」って
思われ





聞いてよ...



聞いてよ...!



「ひょろ」...

…だよな

ずっと

嘘ついて

そこ

じゃない！

わからない
…!?

私


お父さんの話
聞いたら
「引く」って

「怖いって思う」って




「知ってたら
最初から
付き合うことも
なかった」って

ずっ
と
そう
思
わ
れ
て
た
の
…
!!




「別れたい」って
思うって…？

こんなに

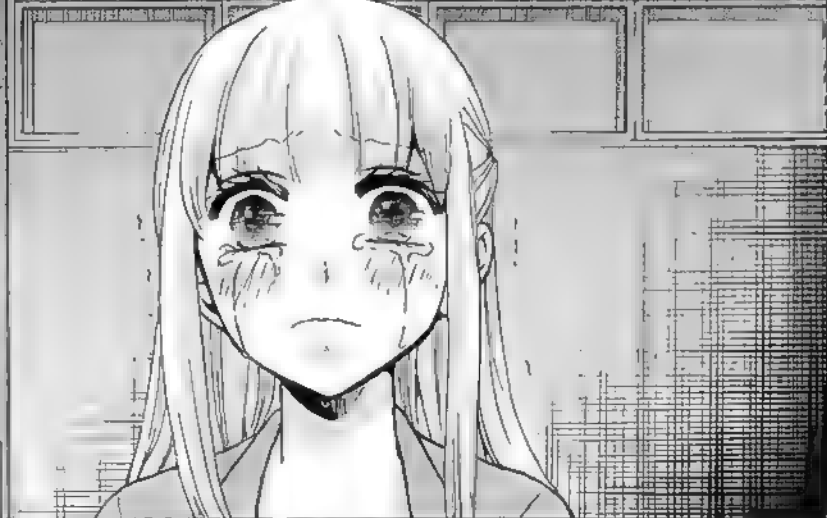


こんなに
好きなのに



全然
信じて
もらえて
なかったの!?

あの人
結構
弱いよね



斉藤さん

支えられない



逢澤さんじゃ
ないと

心の奥の
弱い所は



全然
違っ
た
み
たい



支えること
なんて

許されて
なかったの…



こう言って
くれたら
救われるって

心のどこかで
期待してたな

「親なんて
関係ない」って

「好きだ」
って

期待通りの
言葉

くれてるのに

無理だ

：





思いきり
傷付けて



なにが
無理…？



無理って
…？



俺が駄目
なんだ…

なんで！？

なにがだめなの

なんで？

俺が
俺を

白黒に
してて

……!?

白……？

デメエ
自分だよ

デメエ
自分が
自分を
決めつけてんだ

わかってんだ

わかってる
けど

社長

変わった
ようで


結局俺は

わかんない……!!

わかるように
言って！







持たなきゃ
良かったんだ



大事な
ものなんか



なんで...



こんな





こんな時に

なんだよ!?

こんなに
弱い人間じゃ
なかったはずだ!!

怖えとか

不安
だとか

聞きたく
ねえとか
知られたく
ねえとか

弱くなるなら

最初から

.....

.....

最初から

...?

私のこと
いらなかった
?

弱くなる
なら
必要なかった?

離さ
ないの?

離さない
のね

あの時の
私から



私は絶対
離さないって
決めてるのに

片桐くんは
離すの!?



離せるなら



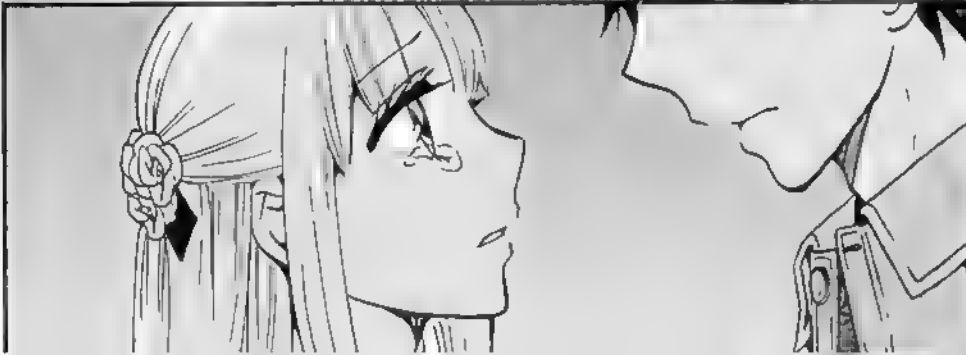


消せる
なら



なかったことに

できるなら



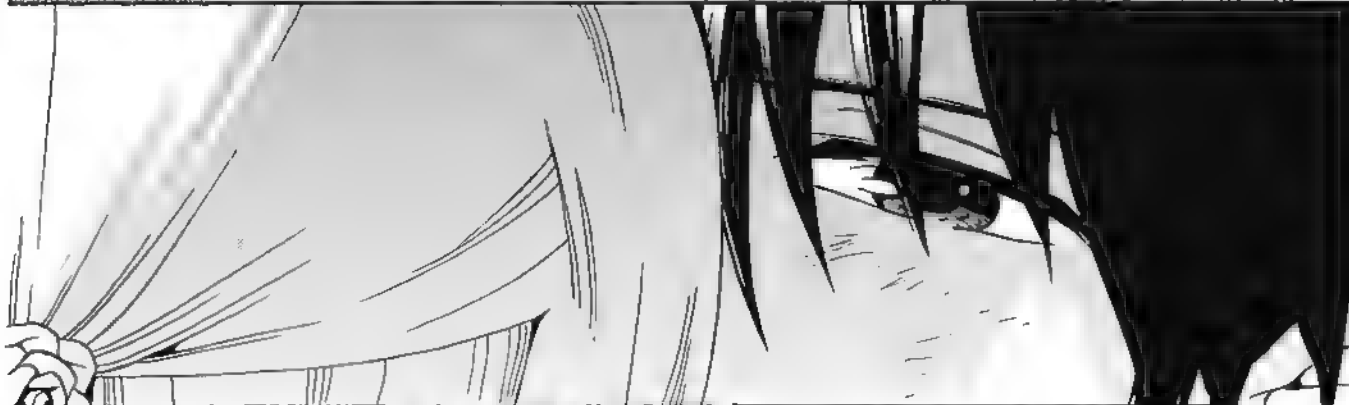
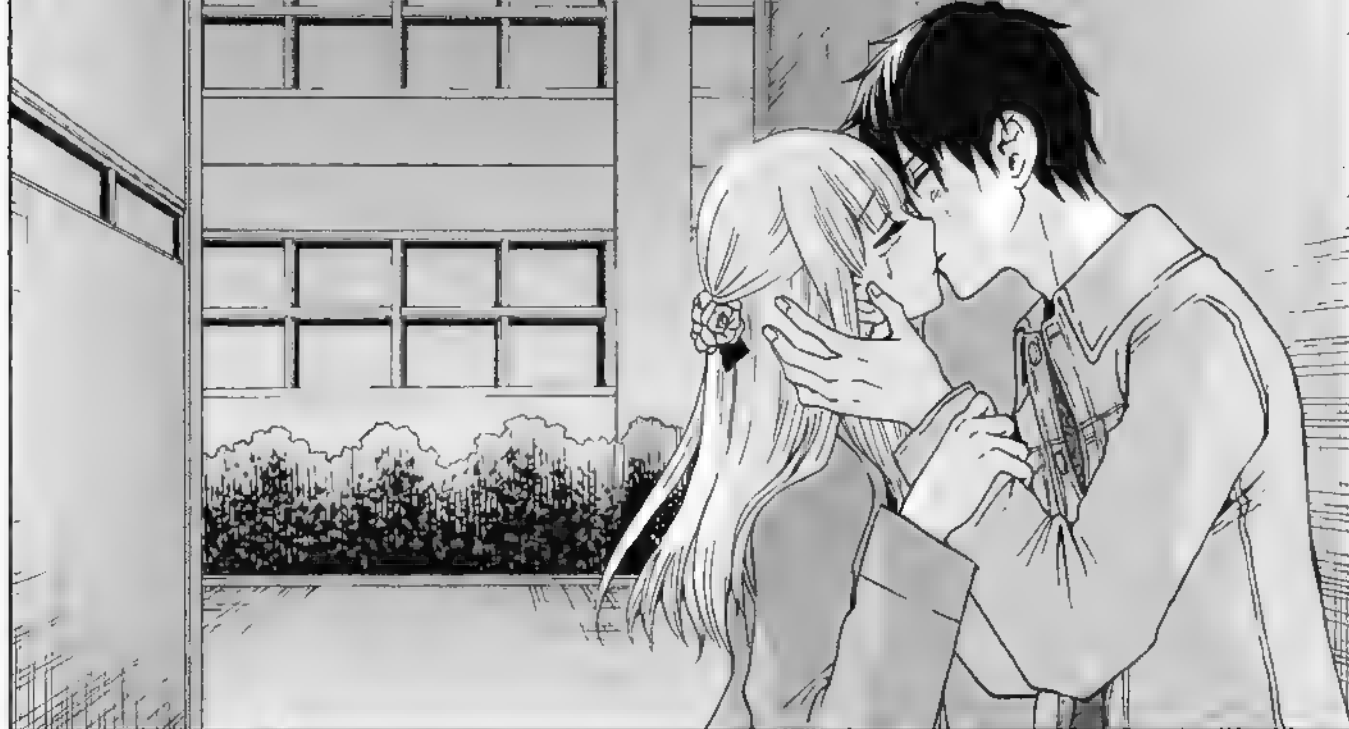
……
今なら

それも
無理だ…

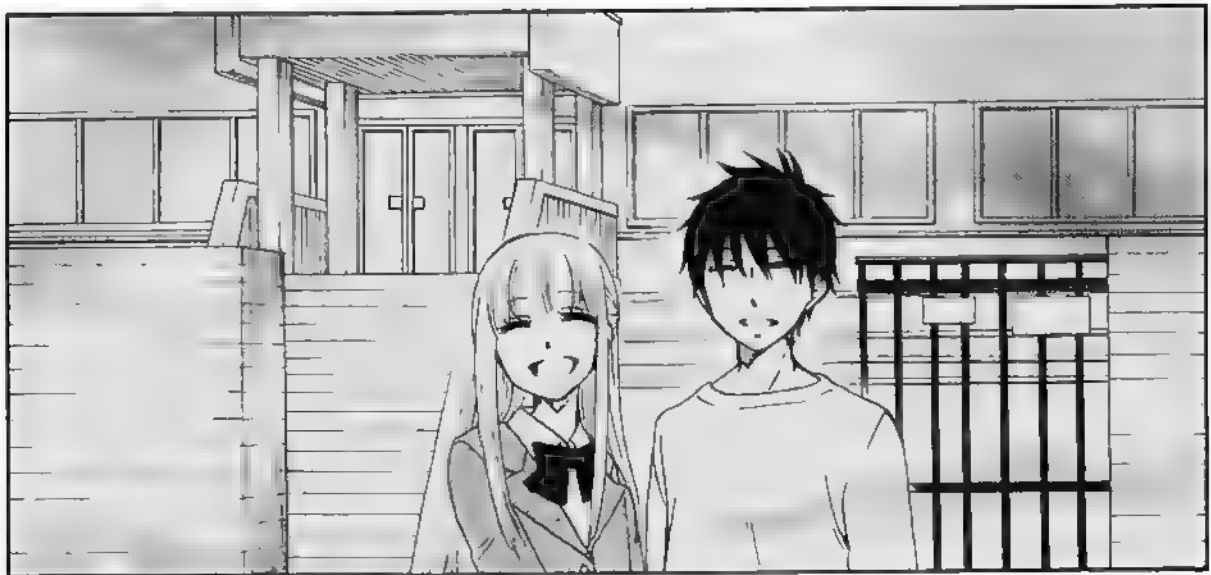


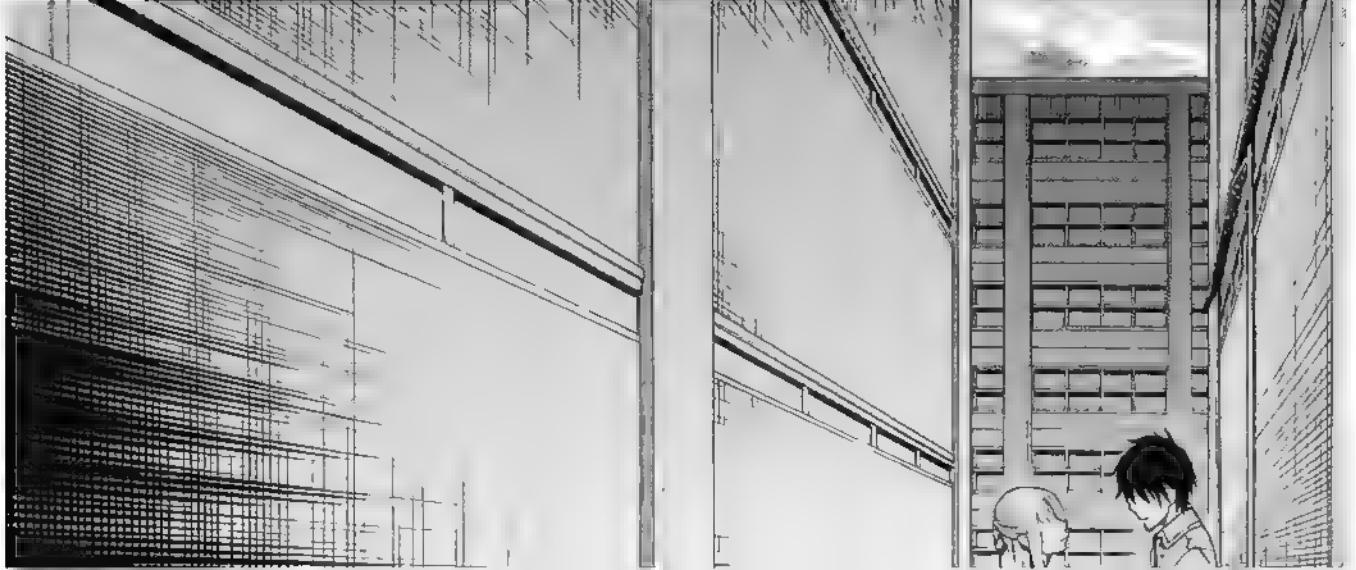
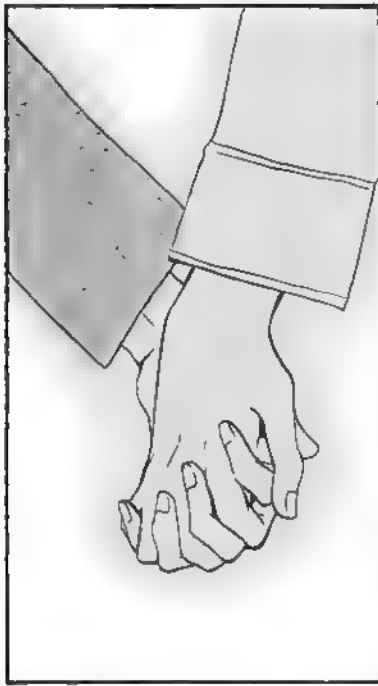












どれも
無理なら

どう
生きれば
いい？

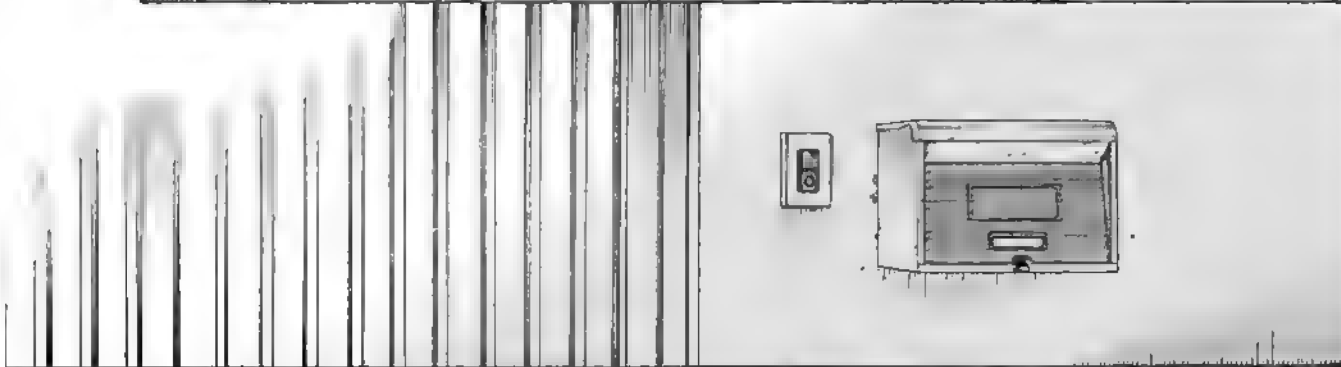
中卒労働者^{ワーカー}
から始める
高校生活

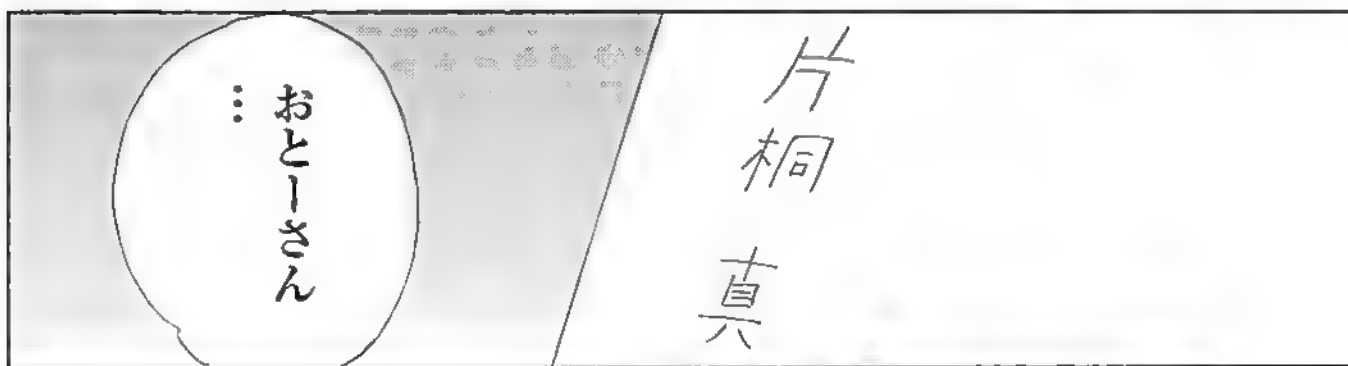


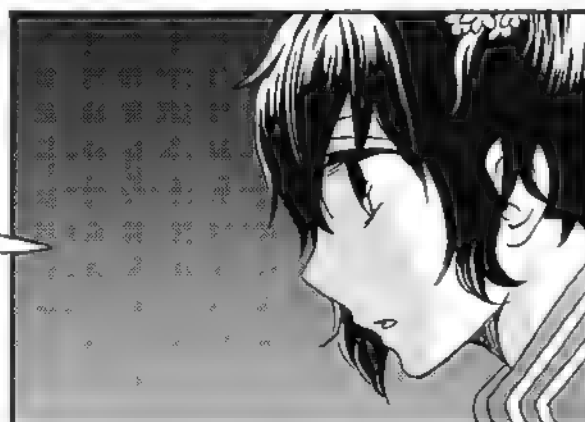




何曜日だ…？









すごい

父さんは
なんでも直せる！

おとーさんが
すきだった

そんなことは
ないよ……

でも自転車
直せるのは
えらいよ！

うーん……

時計が直せたら
良かったのにな

とけい？

なんで
とけい？

時計屋の

^{せがれ}
倅だったから

おとーさんは

ゆっくり
しゃべる人で





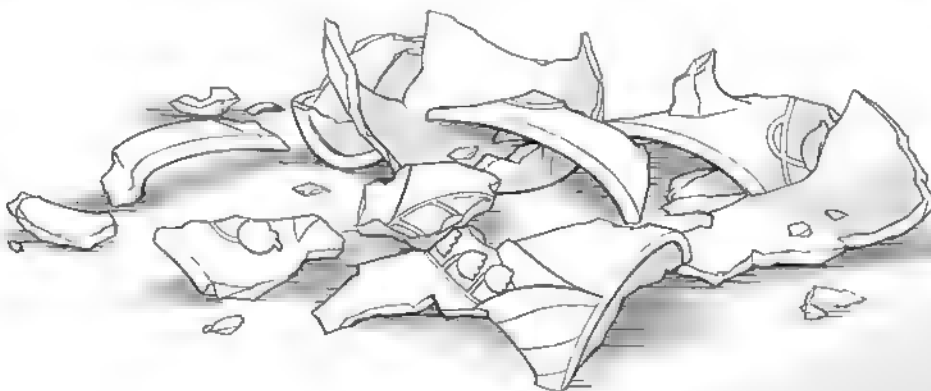
おとーさんが
変わったのは

おかーさんが
病気になる
から



おにーちゃんが
変わったのは

ふたり
父母とも
いなくなっ
てから



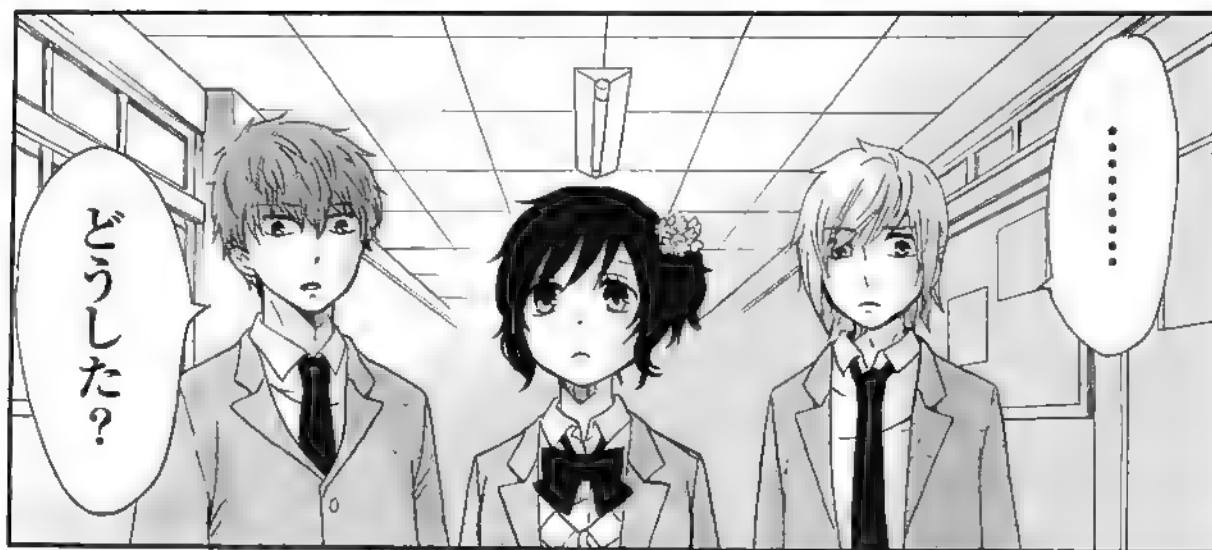














2人は

真彩のこと
すきだよね!?



え

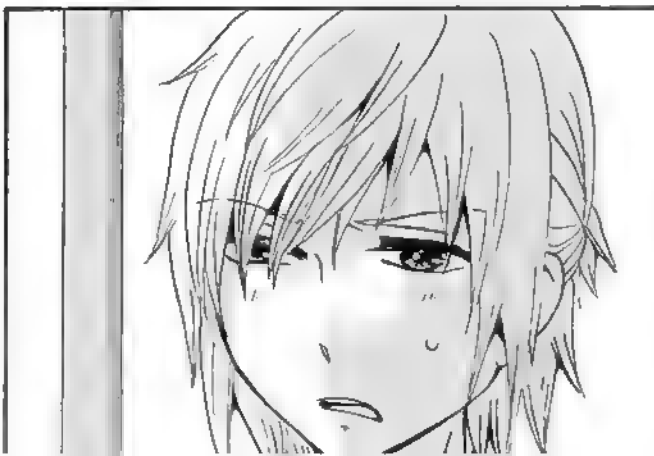
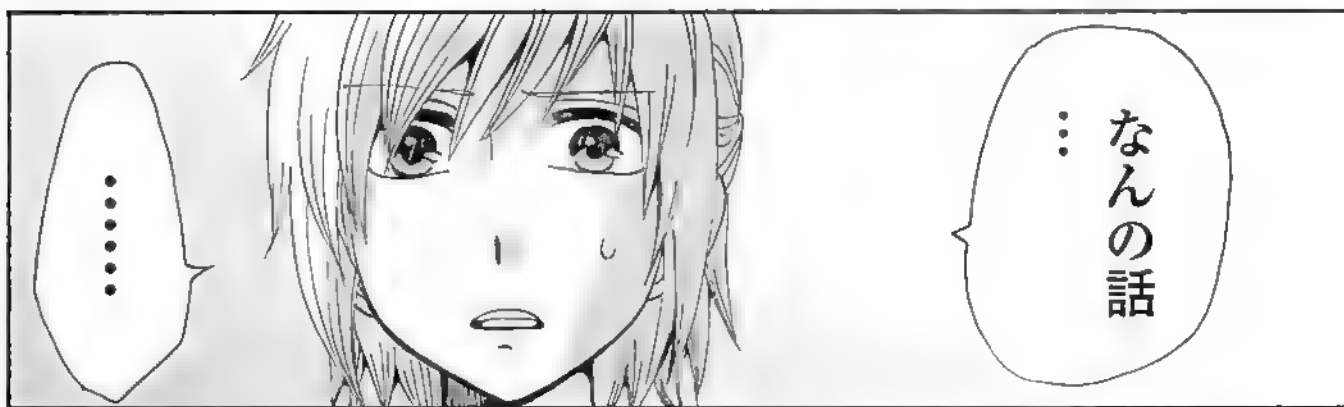


例えば
だけど

真彩が

悪い魔女の
子供だったと
して













真彩
おとーさんに
会いたい

bicycle







…会ってたんだね

最近

おとーさんと

おにーちゃん…

手紙…？

余計な
ことを…

…外で

たまたま
だよ



真彩も
会いた
だめだ



さあ…

元気だった？



関わるな



違う

おとーさん
だよ……

犯罪者だ







みんなじゃないもん！

みんなだ！
夢見んな！！

うそ！

莉央ちゃん
おにーちゃんのこと
嫌いって言った!?





莉央ちゃん
知ってるん
でしょ？

おとーさんの
こと

学校で
変だったもん




嫌いに
なるって？

ずうとそう
思われてたの？




真彩
バカだけど

それぐらい
わかるよ



こんなに
好きなのに

やめてくれ



こんなの
たくさんだ

こいつ
真彩まで

泣いたり
泣かれたり
すること
ねえんだ

あいつ
父親の
せいで

…とにかく

ダメなもの
はダメだ



おとーさんは

失敗しちゃった
だけでしょ？

失敗
したんだよ

失敗したら
許してもらえ
ないの

おにーちゃん
自分が失敗したら
どうするの？



真彩
知ってるよ

自分のこと
許さないんだよ





周りが
許したって

絶対に

おにーちゃんは！

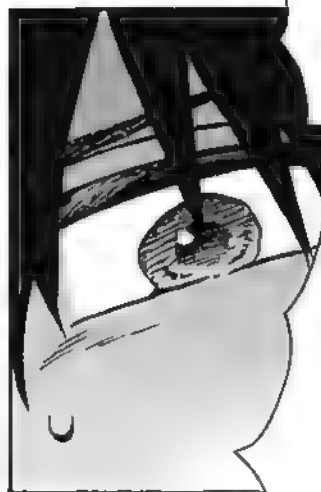
それとも
自分が
おとーさんの
子供なの？
許せないの？

おとーさんが
許せないの？



自分のせいじゃ
なくても
だめなの!?

自分の
せいなら
謝っても
だめ?



後悔
しても!?



莉央ちゃんは
嫌ってないのに



嫌ってるのは
おにーちゃ…

やかましい!!!

ほいっ
あーっ



もう寝ろ！

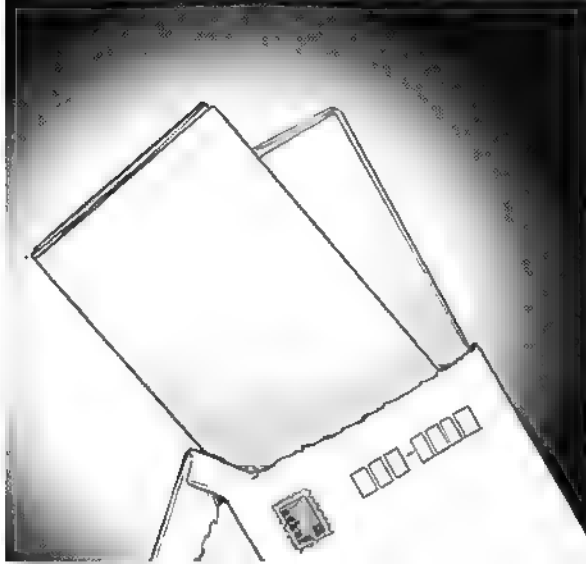
この話は
終わりだ！！

二度と
すんな！！

お

終わりじゃ
ないもん……！

おにーちゃんの
バカ——！！



真彩へ

元気になっていますか。
大きくなりましたか。
お父さんのせいで
ひどい目に遭いましたか。
すまなかった。

もっと色々考えてやれる
親だったら良かったのに
考えられない人間で
すまない。


申し訳ない。





申し訳ない。

真実へ




この前は、
なにもわからず
声をかけてしまって
悪かった。
すまない。

お前がいつか
言ったように
俺は死んだままだが
良かったように思う。

死んでおらず
すまない。

どうするのが正解か
わからなくてすまない。

こんな人間が父親で
申し訳ない。



「許さない」
なんだ



許し方なんて
どこで
教わるんだ



俺は
そんなの
知らねえぞ





…
片桐くん



どうしたん
だい

そんな



一年生の時
みたいな顔
して――

波紋は
止まらない

中卒労働者^{ワーカー}
から始める
高校生活

ブラコンの 作り方11



自転車だ!!

これ真彩の
自転車!?

うん

会社の人から
ゆずって
もらったんだ

真彩も
そろそろ

自転車
乗りたいよね

練習する?

する

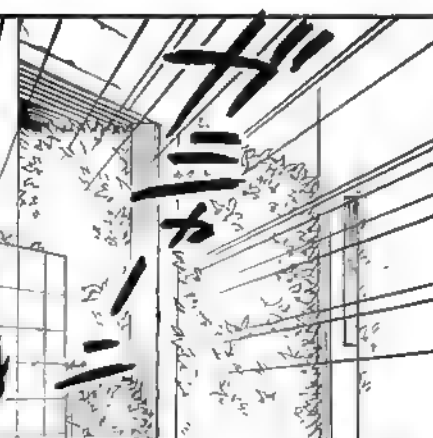
—!!

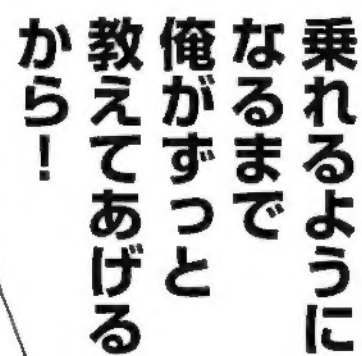
ギエエエ
エエ!!

怖いいい
おとーさん
はなしちゃ
だめ!!

はなさ
ないでええ

真彩…
前を
向かないと
危ない!

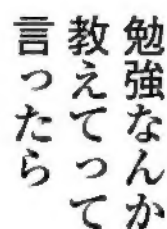




真彩
いっで
あきらめるな！



結局その日の内に
乗れるようには
なつたけどさー
逃げられなく
なるんだもんゝ



面倒くせえ

面倒じゃないの！
まじめなの！
いっしょに！

物語の後半に入ったと言いましたが、
主人公も他のキャラクターたちも
悩み苦しむ事が増えるかもしれません。

自分が10代20代の時も悩みが多くて
悲しみや怒りを抱えていたように思います。

先が見えなくて。

私はそんなに短気な性格ではないと思いますが
真っ暗な所を歩いている不安は人を荒れさせたりしますね。

本当はそういう人でなかったとしても、です。
若い人たちのそれを描けたらと思っています。

上手く伝えられる力が自分にあるのか

不安もありますが、

読者の皆さまがどうか楽しんでくれますようにと
祈るばかりです。

引き続き精一杯描きますので、
次巻もどうぞお付き合いよろしくお願いします。

佐々木ミノル



あ と が き

「中卒労働者から始める高校生活」11巻、
読んで下さってありがとうございます！
物語はこの巻から後半に入ったと思います。
お付き合いして下さっている読者の皆さまのおかげで
後半に辿り着きました。

読者の皆さまのおかげと言えば、
「中卒労働者から～」が
アニメbeansというスマホアプリで見れる
「タテアニメ」というアニメにもしてもらえる事になりました！
主人公たちが動いたりプロの声優さんの声で
演じてもらったりするなんて…
すごいですね。すごいです。
ひとえに読んでくださる読者の皆さまのおかげなのです。
ありがとうございます…！

中卒労働者から始める高校生活 11

佐々木ミノル

日本文芸社
